

気持ちがかもった校庭

今年の愛校作業は、私たち6年生は溝上げでした。溝は草も所々たくさん生えていて、校庭の土も1年の間にいつぱいたまっています。まず、私は溝に降りて草を引きました。少し深く、中に入るのは嫌な気がしたけど、きれいにすることを優先しました。1本1本引きやすく、草がなくなるといよいよ土あげです。重くて水分も混じっていたので、すくってから上にあげるのがとても力がいりました。5・6年で協力して全部取った後は、すーっと気持ちよくなりました。1年生のひよちゃんのお父さんが、チェーンソーを持ってきて大木をだんだん切っていて、プロのかっこよさに見とれました。大人も汗いっぱいでした。自分たちの手で汗を流しながら協力してきれいにするには心がいいと思います。



(上川口小学校 6年 菅 凜汐)

最高に楽しい1日

今日は、学校のみんなで近くの伊与木川へ行き、竹で作ったいかだで遊びました。高知大学のお兄さんたちも一緒でした。ウキウキ、ワクワクの1日でした。いかだをさおでこぐたびに、川の水が深くなって色もこくなってきました。ぼくは泳ぎたくなり川へ飛びこみました。水が冷たくて、とても気持ちよかったです。みんなも一緒に泳ぎました。ぼくは、初めていかだ下りをしました。みんなで川で遊ぶのはとても楽しかったです。みんなも笑顔でいっぱいでした。拳ノ川にはとてもきれいな川や山があった、ぼくはすごくうれしいです。自然の中、最高の夏休みになりました。みんなありがとうございました。



(拳ノ川小学校 4年 大砂 銀慈)

カツオマイスターへの挑戦

佐賀中学校では中学3年生5名がカツオマイスターをめざしています。1回目の練習を終えた時に私が思ったことは、カツオのタタキづくりはとても難しいことです。まず、カツオの頭を切り落とすことが一番難しく感じました。力を入れても硬くてなかなか切ることができないのです。しかし、おじさんがやるとスムーズに切ることができていたので驚きました。私も早くコツをつかんで、上手にできるようになりたいと思いました。背骨と身を切り離すところはうまくできたと思います。尾の付け根からお腹まで一気に切り込むことで、キレイにはがれるのでとても気持ちいいです。最後のタタキにするとき、はじめはカツオの身が崩れてしまったけれど、「あまり力を入れずにスーッと手前に引けば上手に切れる」と教えてくれました。そのアドバイスの後から、きれいに切ることができるようになりました。これからも何回か練習があるので1人できれいにタタキづくりができるように頑張っていきたいです。



(佐賀中学校 3年 吉田 愛華)